

第140回生涯教育研修セミナー

日時 2026年10月24日(土) 15:00～18:30

方法 ハイブリッド開催 (zoom配信/現地:ハイアットリージェンシー東京 地下1階 桃山)

※参加費無料、事前登録制(お申込多数の場合は先着順となります。)

下記のURLまたは二次元コードにて10月18日(日)までに参加登録フォームにて参加登録をお願いいたします。
現地参加ご希望の場合も参加登録フォームからご登録ください。

https://keio-univ.zoom.us/webinar/register/WN_tb9honIESOCJu--bxo2z6Q

※登録完了後、現地参加ご希望の方にもzoom視聴用URLをお送りいたします。

※登録後1週間以上経ってもzoom視聴用URLが届かない場合は、恐れ入りますが事務局までご連絡ください。

※登録完了後に参加方法の変更を希望される方は、必ず事務局までご連絡ください。



参加対象 慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、
東京都地区医師会に所属する医師

取得単位 日本医師会生涯教育制度参加証交付 2単位 カリキュラムコード 6, 28, 45, 46

開会の辞

挨拶

医学部長・慶應医学会長 武林 亨

三四会会長 鈴木 則宏

テーマ

『ポストコロナの感染症と社会 ―ネクストパンデミックに備える―』

本セミナーでは、呼吸器感染症・難治性呼吸器疾患の最新診療からネクストパンデミックへの備え、さらには国際政治学の視点によるグローバル保健ガバナンスまで、医学領域と社会科学を横断した多角的アプローチから最新動向を議論する。

前半のセッションでは、近年、その新薬の登場と共に臨床的関心が高まる「気管支拡張症」について、粘液線毛クリアランスや線毛機能不全症候群などの病態解明と治療の進歩を概説する。続いて、患者数の増加が課題となっている「肺非結核性抗酸菌症(NTM症)」を取り上げ、最新の知見と日常診療における具体的な考え方を提示する。後半のセッションでは、慶應義塾大学が中心となった「コロナ制圧タスクフォース」の研究成果を中心に、COVID-19重症化における個人差や宿主遺伝学的背景の解明から得られた知見に加え、ネクストパンデミックへ向けた戦略と準備体制について論じる。さらに、医学の枠組みを超えて法学・政治学の観点から、国際的な分断が進む現代社会における「グローバル保健ガバナンス」の現状と課題、そして、今後の展望を慶應義塾大学法学部政治学科の詫摩佳代教授にご講演いただく。

臨床医学、基礎研究、国際政治学の知見を結集し、感染症・呼吸器疾患の克服に向けた最新知見と未来の国際連携のあり方を包括的に俯瞰する場としたい。

モデレーター

慶應義塾大学医学部 感染症学教室 教授 南宮 湖

1. 『気管支拡張症診療の最新知見

― 粘液線毛クリアランス、線毛機能不全症候群、治療の進歩 ―』

慶應義塾大学医学部 内科学教室(呼吸器) 専任講師 朝倉 崇徳

2. 『肺非結核性抗酸菌症の最新情報と診療の考え方』

慶應義塾大学医学部 感染症学教室 専任講師 八木 一馬

3. 『COVID-19 はなぜ重症化するのか

― 個人差の解明からネクストパンデミックへの備えへー』

慶應義塾大学医学部 感染症学教室 教授 南宮 湖

4. 『分断世界におけるグローバル保健ガバナンス』

慶應義塾大学法学部 政治学科 教授 詫摩 佳代

挨拶

大正製薬株式会社 取締役常務執行役員 北谷 脩

閉会の辞

生涯教育研修セミナー委員会委員長・慶應医師会会長 佐々木 淳一

次回予定 2027年2月13日(土)開催

共催 慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー委員会
慶應医師会
慶應義塾大学医学部三四会
慶應医学会
大正製薬株式会社

連絡先 〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地
慶應義塾大学信濃町キャンパス総務課内 生涯教育研修セミナー事務局
TEL.03-5363-3611(直通) E-mail:med-somu-3@adst.keio.ac.jp